

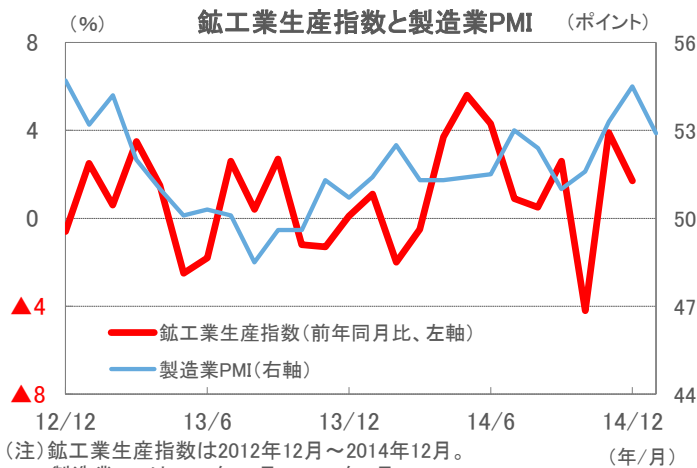
今日のトピック 最近の指標から見るインド経済(2015年2月)

利下げやインフラ投資により、景気は底堅い推移へ

ポイント1 生産は前年比プラスを維持 貿易赤字は縮小傾向

■2014年12月の鉱工業生産指数は、企業景況感の改善基調などを受け前年比プラスを維持しました。企業景況感の改善は原油安などによる物価の落ち着きや経済構造改革への期待が要因と見られます。

■2015年1月の貿易収支は、原油安などにより輸入が減少したことなどから、赤字額が2カ月連続で縮小しました。



ポイント2 物価上昇率は低位 2月会合で政策金利は据え置き

■2015年1月の消費者物価指数は前年同月比+5.1%となり、インド準備銀行（中銀、以下RBI）の2015年1月の目標+8.0%を下回りました。

■RBIは、2月の定例会合で政策金利（レポレート）を7.75%に据え置きました。1月15日の緊急利下げ後、物価などの情勢に大きな変化がなかったことが据え置き理由です。



今後の展開 利下げの継続、投資・輸出の拡大を支えに景気は底堅く推移する見込み

■物価上昇率は、原油・資源価格の下落などから、RBIの2016年1月目標の+6%に近づく予想されます。物価安定などにより、政策金利の下げ余地が生じており、市場では複数回の利下げが行われるとの見方が強まっています。

■2月28日に発表予定の2015年度（2015年4月～2016年3月）予算案では、財政赤字の縮小とイン

フラ整備への投資拡大が見込まれます。世界経済の回復による輸出拡大も期待され、「モディノミクス」の進展により、景気は底堅く推移する見通しです。

■景気の底堅さを背景に、財政健全化の進展は国債の信用力を高めると見られ、中長期的にもルピーは底堅く推移すると期待されます。

ここも チェック!

2015年02月26日 インドの「国家予算案」は28日発表(インド)
2015年02月16日 「モディ政権」、地方選敗北も無風(インド)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。